

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 96	提案機関名 横須賀三浦地域県政総合センター
要望問題名 カシノナガキクイムシによるナラ枯れの対処法について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○カシノナガキクイムシ（以下「カシナガ」と略称）によるナラ枯れは、平成29年に県内で初めて確認された。横須賀三浦管内でも平成29年からマテバシイ、コナラの枯死が発見され、被害材積は、平成29年度に103m ³ 、平成30年度は623m ³ と増加の傾向にある。 ○被害拡大防止には、カシナガ成虫の発生源となるカシナガ穿入木の除去・くん蒸等の処理が必要とされているが、平成30年度に現地調査を行ったところ、穿入されても枯死していない木が枯死木の数倍あることが明らかになった。中には、ほとんどのコナラが穿入されている区域もあり、すべての穿入木を除去することは適切でないと考えられる。 ○被害拡大防止には、殺菌剤の注入、粘着シートの巻付け等の方法もあるが、いずれも県内では実験段階であり効果は実証されていない。 ○三浦半島地域には、カシナガ発生の可能性の高い大径のコナラ、マテバシイが多く、被害がますます増加し、景観上、防災上の問題となることが懸念される。 ○カシナガの生態、被害発生メカニズム等を解明し、適切な対処法を確立することが望まれる。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究企画部研究連携課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) ナラ枯れ対策の支援		
対応の内容等	平成29年度より継続して取り組んでいるカシノナガキクイムシの発生モニタリング調査の結果や、県内各地から寄せられている被害発生情報の集積を通じて、防除などの適切な対応について、本種の生態、被害拡大メカニズム、防除方法などの既存の知見を踏まえて、主管課である水源環境保全課や国設研究機関とも連携し、随時、情報提供していきます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			